

# 2026フジパンCUP 第32回関西U-11サッカー大会要項

**日 程** 2026年(令和8年)3月21日(土)・22日(日)・23日(月)

●受付:午前8時~(午前8時45分までには出場全チーム受付を済ませてください)

※大会初日の受付はS1クラブハウス前テントにて行います

※開会式はS1(天然芝グラウンド)で行います※スパイク禁止

※閉会式はS1グラウンドにてカップトーナメント、プレートトーナメント、ブロンズトーナメント、全てのトーナメントベスト4のチームの表彰を行います

**会 場** J-GREEN堺(堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター)

※天然芝および人工芝フィールドを使用します。

**競 技 方 法** <<予選リーグ>>21日

近畿2府4県の各代表4チーム、合計24チームを3チームずつ8ブロックに分け、各ブロックでリーグ戦を行う。

<<決勝トーナメント>>22日・23日

予選ブロック1位の8チームによるカップトーナメントで優勝、準優勝、3位チーム(2チーム)を決定。

予選ブロック2位チームおよび3位チームによるトーナメントも実施。

**表 彰** <<カップトーナメントの部>>

優勝チームに表彰状、フジパンCUP、日刊スポーツ杯、個人メダル、準優勝チームに表彰状、フジパン盾、日刊スポーツ杯、個人メダル、3位(2チーム)に表彰状、フジパン盾、日刊スポーツ杯、個人メダルを贈る。

<<プレートトーナメントの部>>(予選ブロック2位トーナメント)

☆1・2・3・4位に日刊スポーツ盾を贈る。

<<ブロンズトーナメントの部>>(予選ブロック3位トーナメント)

☆1・2・3・4位に日刊スポーツブロンズを贈る。

**チ ャ ム 構 成** 日本サッカー協会第4種に登録された単独チーム。ただし選手は小学5年生以下で本大会にエントリーしたものとする。構成は20歳以上の責任者(代表者・監督・コーチ)を付けベンチ入りする役員のうち1名以上が日本協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)、を有する事登録選手は20名以内とする。

ベンチ入りは、登録選手全員と指導者2名以上3名以下とする

なお、今回 日刊スポーツ杯第32回関西U-11サッカー各府県大会にエントリーされていた選手を再度エントリーとする。変更もあり。

選手は健康であり、かつ保護者の同意のあったものとする。

# 大会規定

## 競技時間 競技規則

40分（前半20分－5分－後半20分）

- (1) (公財)日本サッカー協会による「2024/2025 サッカー競技規則」に準ずる。
- (2) 使用球はJFA4号検定球とし、主催者側が準備する。

## 競技のフィールド

- (1) フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50m程度とする。
- (2) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。

### 競技のフィールド

ペナルティエリア等      ペナルティエリア 12m      ペナルティマーク      8m      ペナルティアークの半径 7m  
ゴールエリア      4m      センターサークルの半径 7m

ゴール：ジュニア用

※ゴールは、競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。

交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける（ハーフウェーラインを挟んで3mずつ）

### (3) 勝敗の決定

☆予選リーグ

◎勝敗は得点による

◎勝点：勝ちの場合3点、引き分けの場合は1点、負けの場合0点とする。

◎順位 a) 勝点の多い順      b) 勝点同一の場合は、得失点差の多い順

c) a、bともに同じ場合は、総得点の多い順 d) a、b、cともに同じ場合は、対戦成績の結果により決定

e) a、b、c、dともに同じ場合は、抽選で決定する。

※不戦敗になったチームはそのリーグの最下位とする。また不戦敗チームのリーグでの成績は順位決定事項から外す。

☆決勝トーナメント

◎同点の場合はPK方式（3名で行い決しない場合、4人目以降同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、キックは続けられる。

ただし、カップトーナメント決勝のみ10分（5分－5分）の延長戦を行う。なお決しない時はPK方式により優勝を決める。

### (4) 試合の成立

試合開始30分前または本部の指示に従い本部に集合し、エントリー登録書と選手証または選手一覧表（以下、選手証）を提出し承諾された

場合とする。※写真貼付デジタル選手証可      ※選手チェックは、1日目、2日目ともに第1試合の試合30分前までに1回のみ行う。

20歳以上の責任者（代表者・監督・コーチ）がいない場合は不戦敗とする。

選手証（写真貼付デジタル選手証）がエントリー時に、提示できなかった選手については出場できない

選手証（写真貼付デジタル選手証）はエントリー登録書の順番に並べて提出すること。

**チーム指導（戦術的指示・コーチング）を行う者はJFA公認指導者資格のチェックを行う**

注）本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中の怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

### (5) 選手交代（大会登録され、試合前にメンバーチェックを受けた選手）

◎1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

◎登録出来る交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することが出来る。

交代の回数は制限されない。

◎ゴールキーパーは、事前に主審に通知したうえで、試合の停止中に入れ替わることが出来る。

GKが交代で退く際は、境界線の最も近い位置からフィールドを出なければならない。

<交代の手続き>

1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

3) 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことが出来る。

注）ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得たうえでどこからフィールドを離れてもよい

4) 交代について、主審、副審および補助審判の承認を得る必要はない。

### (6) ユニフォーム

◎ユニフォームはシャツ、パンツ、ストッキング、レガースを着用すること。また正、副2種類用意のこと。

**審判が両チームのユニフォームの識別が困難と判断した場合、両チーム・審判・本部で話し合い、トス等にて決定する。**

◎アンダーシャツ又はアンダーショーツおよびタイツの色は規定しない。ただし、チーム内で同色の物を着用すること。

着用するかどうかは統一しなくてもよい。同一チーム内で複数のGKが着用する場合は同色とすること。

◎ソックステープ等の色は規定しない（GKの肘、膝ガード用サポーター含）

◎GKのパンツ、ソックスは、F・Pと同系色でもよい。GKのシャツの色彩は、他の競技者、審判員と明確に判別できるもの

でなければならない。ピブスによる対応は認めない。

◎試合スタートのGKは、エントリー登録書に記載されたユニフォームを3点セットで着用する。

◎フィールドプレーヤー（FP）およびゴールキーパー（GK 1名以上）登録者は登録書に記載したユニフォームを着用のこと。

また、F・PがGKをする場合、選手固有の背番号のGKシャツ（登録しているシャツ）を着用しなければならない。

但し、パンツ・ストッキングはフィールドプレーヤー登録で可とする。また、GK登録者（1名以上）がF・Pを行う場合はGK登録と同じ番号

のF・Pユニフォームを着用しなければならない。

◎シューズは、ゴム底またはゴム質のポイントに限る。

◎ユニフォームの広告表示は認める。ただし日本協会に大会実施1ヶ月前までに承認されたものとし、表示される広告が公序良俗に反するもの

（子供の相応しくない）や大会関係団体に対して不適切と判断した場合は広告表示を停止する。

また、大会使用会場の広告扱いとして費用が発生した場合は当該チームの費用負担とする。

### (7) 警告退場

◎本大会中に2度の警告を受けた者、退場処分を受けた者は、自動的に次の1試合を出場出来ない。

その後の措置に関しては関西サッカー協会第4種委員会規律委員会に即して決定する。

## 審判 審判員 その他

審判は関西サッカー協会派遣審判および関西サッカー協会第4種委員会が担当する。

本大会においては、試合は主審と補助審判の2人で行う。

負傷者については応急処置の他責任を負いません。参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入のこと。

本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項については、関西4種委員会申し合わせ事項によるものとし、

それでも解決しない場合は、大会本部にて協議・決定するものとする

不測の事態（悪天候や災害等）が起こった場合、大会役員が協議のうえ大会責任者（関西第4種委員長）の判断のもと不測の事態に対応する。

本書に記載のチーム構成、大会規定および競技規則等に違反した場合、あるいはチームとして違反と認められた場合、当該チーム

（選手、指導者含む）、当該試合の処分については本大会役員が協議のうえ大会責任者（関西第4種委員長）が決定する（必要

に応じてJFAへ報告する）。